

投資事業評価調書（継続：再々評価）

部課室名	河川整備課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	河川整備課長 佐々木良作 (都市河川係長 糟谷昌俊)	内線	4408 (4417)
------	-------	---------------------	-------------------------------	----	----------------

事業種目	河川	事業採択年度	S54		現 計 画	再評価時点
事業名	広域一般河川改修事業 (二)瀬戸川水系瀬戸川	着工年度	S54	総事業費	61億円	41億円
		再評価年度	H10	内用地補償費	8.7億円	8.7億円
事業区間	明石市魚住町西岡～清水			完成予定年度	H24	-
所在地	明石市			進 捗 率 (内用補進捗率)	83%(84%)	37%(61%)

事業の目的		事業内容				
<p>当該河川は河積が狭小で一部には無堤区間を有し、加えて河積を阻害する構造物(橋梁)が横断している、昭和40年9月台風24号(浸水面積60ha、浸水家屋数280戸)等により、沿川の集落は過去から大規模な浸水被害に見舞われている。</p> <p>このため、当該地域の浸水被害を防止するために、治水安全度1/30を目標に改修を行い、地域住民の安全・安心な生活環境を確保するものである。</p>		計画流量	Q = 190m ³ /s (治水安全度1/30：山陽電鉄橋梁)			
		実施内容	L = 2,540m W = 25m ~ 16.1m 築堤、掘削、護岸、道路橋6橋、 鉄道橋1橋、井堰7基等			

進捗状況	<p>昭和54年度に着手し、これまでに、築堤、河積拡大等を行いJR山陽本線までを完了させた。</p> <p>再評価時点(H10)から現在までに、山陽電鉄橋梁架替を完了し、また山陽新幹線から上流の築堤、護岸整備を進めており、今後も事業の重点化と効率的な事業執行に努め、平成24年度に事業を完了させる予定である。</p> <p>また、河川整備計画を現在検討作業中である。</p>
------	---

評価視点	評価結果の説明
(1)必要性	・明石市街地、国道2号、山陽電鉄本線等を浸水被害から守るため、築堤、護岸、横断構造物の改築等の河川改修工事を実施しており、残区間の治水安全度を早期に向上させるため、継続的な整備を実施する必要がある。
(2)有効性・効率性	・ B / C = 5 . 6 ・道路管理者と連携し橋梁の架替を行う。 ・水利権者との調整を行い、井堰の改築を行う。
(3)環境適合性	・井堰には魚類等の遡上の妨げにならないよう魚道を整備する。 ・環境保全型ブロック、空石積等の採用など、生態系に配慮した改築を行なう。
(4)優先性	・残事業区間には、治水上ネックとなる橋梁2橋や堰上げの原因となる瀬戸川第6井堰が残っており、治水安全度が低いことから、沿川市街地を浸水被害から防御する当該事業の優先性は高い。

再々評価の結果	事業継続	左の理由	上記理由により、事業継続が妥当である。
---------	------	------	---------------------